

2019 年 和鉄の道・Iron Road トピックス

平成から令和に変わり、激動の時代に。炭酸ガス増加による地球温暖化がもたらす自然災害の脅威が我が身にも迫る。地球はどうなってゆくのか・・・・

約 40 億年前 鉄の惑星地球でシアノバクテリアが 鉄の助けも借りて、大量の炭酸ガスを原料に光合成を行って酸素を作り、人を含む現生物の時代を作り上げた。鉄が新しい道を切り開いてくれないものか・・・・

今そんなことを頭に浮かべつつ、新しい鉄の時代の夢を膨らませています。

本年は製鉄関連遺跡を訪ねたり、新しい鉄の姿もご紹介できませんでしたが、謎に包まれていた製鉄の歴史・たたら製鉄の謎がバールをぬぎはじめた新しい年になりました。

1. 鉄の起源・鉄の伝播探求<< ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道Metal Road >>
数々の成果を上げてきた愛媛大東アジア古代鉄文化研究センターが本年4月に
さらなる発展を目指して「アジア古代産業考古学研究センター」へと継承改組。



村上恭通教授が率いる愛媛大東アジア古代鉄研究センターが10数年に渡り、関係諸国との共同調査研究により取り組み 数々の輝かしい成果をあげてきた鉄の起源・鉄の伝播探求<< ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道Metal Road >>の共同研究。

「たたら製鉄の源流 鉄の起源 & 西アジアで生まれた製鉄技術のユーラシア大陸東遷の道」をほぼ明らかにした。

今まで定説だったヒッタイト人工鉄起源説を覆すヒッタイト以前の人工鉄の発見や
数々の遺跡発掘などユーラシア大陸の関係各国との共同調査通じて、西アジアで生
まれた製鉄技術のアジア大陸東遷の道筋を解明。

これを機会に今までその都度私の聴講メモとして紹介してきた関係記事を一覧リストにして、全体を眺める資料に。まさにたたら製鉄の源流を解き明かす嬉しい整理資料になりました。

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1904tetsunokigenehime.pdf>

この4月から、「鉄」の名前が舞えるのは残念ですが、開設以来培ってこられたユーラシア大陸諸国との連携・交流を一層深め、産業考古学・古代鉄の分野にこだわらず、さらに活躍していただけるよう期待しています。

ちょうどそんな折、愛媛大学村上恭通教授が徳島で「弥生時代の鍛冶工房に関する基礎論 -加茂宮ノ前遺跡の鍛冶工房を理解するために-」と題して講演。弥生の後期・末期日本各地に出現した交易を意識した鍛冶工房を有する生産工房集落を



でも 弥生後期・末期には日本各地で活発に鍛冶工房が動き出したことは いよいよ日本の国造りが各地で動き出した
感が強いと感じます。

また、12月 角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」にであえたことも収穫。
一番知りたかったたたら製鉄の原料 砂鉄について 色々知見を得て、頭もスッキリしました。
本年は具体的な製鉄関連遺蹟を訪ねることができませんでしたが、
鉄の起源・たたら製鉄の源流と新しい考古学資料に基づくたたら製鉄の歴史レビューに出会えて嬉しい1年。
歳とともに なかなか出かけることが難しくなってきましたが、まだまだ好奇心は旺盛 足も動くので気ままな風来坊
ですが、鉄をキーワードに来年もと。 引き続きよろしくおねがいします。

2019年 風来坊・Country Walk トピックス

本年も私の住む神戸を中心とした近郊の里を季節折々訪ねる相も変らぬ花便り・近郊ハイクの楽しみに、一日8000歩健康 walk も相変わらず続けることができました。

後期高齢になりましたが、元気にうごけることに感謝しつつも、病気や困難と戦っている仲間が気にかかる。

また、先に逝ってしまった仲間もいる。歩きながらも いろんなことが頭を駆け巡る。

なかなか 遠くへ出かけられなくなりましたが、God Be With You!! も口癖になりましたが、元気に前向いてと

今年も 近郊を歩く中で見つけた神戸須磨界隈の四季の景色が中心。季節を飾る草花 西六甲から見る山・海

神戸の楽しみです。 今年早春カタクリの花に出会いに行けませんでした。来年はぜひと。。。。。

毎年 同じやなあ。。。。と思いますが、毎年出会いにゆく楽しみはやめられません。

年々 季節感が薄れ、また 感動も。。。。 社会風潮か 地球温暖化の影響か それとも老化かも。。。。

でも デジカメ写真をスライドに BGMも探して 動画にしてゆっくり楽しむ楽しみも。

また、今年は孫たちと一緒に楽しんだ動画も随分作りました。

一年一年また一年 私・家族の記録にも。。。。



寒さ我募る1月の末 こんなユーモラスな毛糸で着飾った大仏様ほか 毛糸を着飾った街にほっこり

春の足音がすぐそこに【1】 須磨離宮公園の梅林へ 2019.2.13.

各地の梅便りが届くようになって、まだもちょっと早いかなあと思いつつ
菜の花・水仙の散歩道から梅の花が眺められる須磨離宮公園の梅林へ



春の足音がすぐそこに(2) 2019.2.20. 離岡山梅林
毎年春の訪れを知る定点 離岡山の梅林へ



4月 卯月 待ちかねた春の訪れ!! 2019

■ 春の陽光に照り輝く須磨の海
2019.3.9. 須磨廣振り山山上梅林より



春の陽光に照り輝く須磨の海 須磨山山頂で 2019.3.9.

新生の息吹を胸一杯 この春を元気に!!



奥平野「舞桜」 2019.3.28 神戸水の科学博物館

市街地を昇下ろす再度山麓の丘 水の博物館に咲く神戸の一本桜 「奥平野の舞桜」 2019.4.1.
昨年は3月末にもう満開でしたが、今年はまだちらほら咲き あと1週間が待ち遠しい





4月後半から5月 2019年春 From Kobe の記録
新緑の神戸の街を元気に駆けろ!!
野も山も街もひとと新生の庶民 by Mutsu Nakanishi

- | | |
|---|-------------------|
| ● 桜が散った4月後半、一輪に山は焚火さきミツバソウジが満開に、西へ大空を飛ぶ鳥の横山山「ミツバソウジ」 | 2019.4.13. |
| ● 野山にも春風も入るよ、新生の緑草、山は一面に焚火いて | |
| ● 敷原にいっしょなうら、妙法寺 春草の街で | 2019.4.20. |
| ● 沼津駅周辺の南東部、緑地の中で 4月春の沼津寺弘法市 | 2019.4.21. |
| ● 山道ハイパス 神戸聖堂運動公園 春のイベント始動
春例祭のルーカール・パブル & 野球シーズン開幕 大学野球 | 2019.4.21. |
| ● 令和元年 新しい年の始まりは 新鮮の京都 八幡で | 2019.5.1. |
| ● 久しぶりの五月晴れ、新鮮の中で walking & リクス観戦も楽し | 2019.5.10 & 5.11. |
| ● 春例祭の新館前音楽祭 Street Live & Live house 巡り | 2019.5.11. |
| ● 祭の付き添いで西神戸臨園山神出の期 楽園センターで楽園体験 | 2019.5.16. |
| ● 5月後半、初夏はもう5月中に衣替い、妙法寺観音湯辺で | 2019.5.20. |
| ● 涼み散歩5月の夜、大望を登って | |
| ● 西へ大空を飛ぶ鳥の横山山「ミツバソウジ」 | 2019.5.20. |
| ● 2019年春の神戸を走る道徳線公園開放祭の2019春バラ展 | 2019.5.2. |
| ● 夏の山道を歩くのは木の林、山が二重に葉の色がパフワ | 2019.5.2. |
| ● 夏到来を告げるのは木の林、山が二重に葉の色がパフワ | 2019.5.2. |
| ● 更に高山植物も見ると聞いて、六甲高山植物園で | 2019.5.2. |
| ● 年暮りが平成から令和に！新しい時代を元気に
仲間の元気を活力にし！今を元気に | 2019.5.1. |
| ● 厚層高木の大樹が「鉄鋼」から住居の心が溜めた
高度成長から、成熟飽和の時代を一顧に駆けつけた我が身を振り返る
● 時代の変わり目 後期高齢者になって 5・6月は同窓会が花盛り
仲間がいるのは本当にうれしい | |



年号が平成から令和に 新しい時代を元気に!!
 新生の皇政に満ちて 新しい出会いと出発に日々あたら
 世間高燃えになって迎える新時代 仲間の元気を活気に!! 令和元年5月1日

折しも、重厚長大の象徴「鉄鋼」から住金の名が消えた
高度成長の「昭和」・成熟発展の「平成」を共に駆け抜けた 我が身を振り返る
新生の息吹に満ちるとは言えずとも
お互に God be with you!! 元気に前向いてと
我が身の人生を振り返る 令和元年5月1日です

「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生かされるか」



新日住金主 → NIPPON STEEL 住金賛助の朝日の記事に思いを馳せて 2019.4.11.
重厚長大の象徴「鉄鋼」から住金の名が消えた
高度成長から、成熟変換の時代を一緒に駆け抜けた我が身を振り返る

新しい時代を築くのかの如く日本の高度成長を変えた読者意識の名が消えた
2019.4.9. - 4.11. 朝日新聞朝刊 経済面「厚底 日本製造上・中・下」



2019ひまわりの夏 ひまわりwalk 2019.7.17.



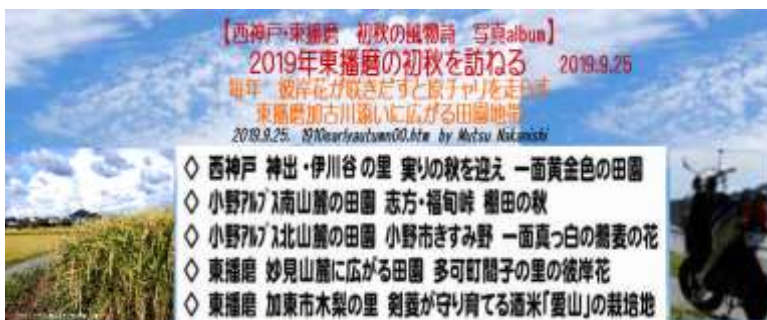
今年も小野のひまわりの丘 & 千種川が流れ下るたたらの郷佐用町のひまわり畑を訪ねて元気な朝割れに出会えました

- 小野市浄谷 ひまわりの丘 ひまわり畑
- 千種川が流れ下る古代たたら郷 旧南光・旧三日月のひまわり畑
- 古代たたら郷 千種川河岸田段丘の丘 漆野段集落のひまわり畑
- 千種川河岸段丘 林崎のひまわり畑
- 旧三日月町 志文川河岸新線電車が行く宝蔵寺のひまわり畑

小野ひまわりの丘・佐用漆野のひまわり畑はうれしい満開
佐用林崎・宝蔵寺のひまわり畑は満開を過ぎていましたが、
毎年、夏のつれいしたたら郷とひまわりの出会い
元気をもらって帰ってきました From Kobe Mutsu Nakamichi



東郷・林崎のひまわり畑で 2019.7.17



【西神戸・東播磨 初秋の風景詩 写真album】
2019年東播磨の初秋を訪ねる 2019.9.25
毎年、彼岸花が咲きだすと原チャイノを走り出す
東播磨加古川沿いに広がる田園地帯
2019.9.25. 2019autumn00.htm by Mutsu Nakamichi

- ◇ 西神戸 神出・伊川谷の里 実りの秋を迎え 一面黄金色の田園
- ◇ 小野7A7入山麓の田園 志方・福留峠 樹木の秋
- ◇ 小野7A7北山麓の田園 小野市きすみ野 一面真っ白の蕎麦の花
- ◇ 東播磨 妙見山麓に広がる田園 多可町関子の里の彼岸花
- ◇ 東播磨 加東市木梨の里 剣菱が守り育てる透米「墨山」の栽培地



今年の秋は ラグビーワールドカップの試合にかじりついて 大興奮





今年 紅葉は遅れましたが、関西どこでも 真っ赤に色づいて美しい秋景色に



秋の終わり 横尾山の丘を真っ白に飾る兵庫県花「野路菊」

毎日の散策路 須磨アルプス横尾道の丘に、待ち兼ねた兵庫の県花「野路菊」の花が丘一面を真っ白に

今年も先に逝った仲間をゆっくり偲ぶ秋送り 2019.11.18&11.26



平和な生活 とともに生きるありがたさをかみしめ 心も新たに
また 一年 前むいて お互いスクラム組んで 老いを笑顔で

2019年 四季折々・From Kobe トピックス

更新の折々 頭にあることを書き連ねたFrom Kobe も今年は毎度同じことの繰り返し。

地球温暖化が抜き差しならぬ時代 その自然の災害の猛威が直接我が身にも

そんな激動の中で 身勝手な政治に振り回され続ける定見なき日本 日本はどこへ行くのか…

人類が生き抜いてきた歴史 それにもさおさす日本 それでよいのか…

この一年 書き綴ってきた文章を眺め、一年を振り返ってみると同じことを繰り返し、言い続けてきたようだ。歳が平成から令和に変わり、大きなパラダイムシフトが世界で起こっている。そんな中で日本はどこへゆくのか 未だにほうこうがみえぬ訳のわからぬ社会情勢。先が見えぬ日本 そんな状況が今も続く一年だった。

12月COP25 あのスウェーデンの16歳の若者が世界を相手にあれだけ地球危機を訴えている。

それも世界の首脳たちを前に堂々と。そんな問いかけにどうこたえればよいのか…

新聞の論調も今 急激に変わってきた。

そんなことを感じる中で、**日本社会の読解力低下の記事**が出た。科学技術立国・ものづくり世界一がもう誰の目にも由来で見え出した今 **自立して物事を考え理解市判断する力 = 読解力** がここ10年で トップクラスから大きく下落し、遠く離されてしまったと。

3月 小林喜光氏の「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」の記事にビックリして以来の強烈な日本へのパンチである。馬耳東風の日本 これで良いのか…

日本の今を振り返る一助になれば…と。ふれた年寄り風来坊のたわごとです。

下記の文は本年はじめのfrom Kobe に書き記した言葉である。

◆ 2019年 年のはじめに 心も新たに 年のはじめの思い

日本人の心の故郷 「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて

私がよく口にする「縄文帰り」・「日本人の心」、そして この変革の時代に新しい顔を見せる「鉄」

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光「肌光」その輝きの中に煌然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道・知恵が「他人を思いやる心」
かつて日本は 1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形成してきた時代があった
日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジンは「縄文の心・他人を思いやる心」だった
「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
現代社会においてはしばしば「なまじろい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
でも 一旦危機災害に直面した時には 誰もがその力強さに心打たれる「心」
「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい計画を示し始めた。
「鉄は国家なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる豊い鉄」「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



望むと望まざるにかかわらず、躍動の時代から 成熟社会・人口減少の「激変の時代」へ
人類が幾たびも経験してきた絶滅の厳しい淵に立っている。

人類が困難を生き抜いてきた力それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」
約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文はその実証例
幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年々いまで
集落の人たちに見守られ、生活を共にしてきた例が見つかった。
「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星 もし 鉄が地球にながば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。
動物の血液中の鉄・植物の光合成にも鉄が関与し続けている。
山海の動植物の生態系も また「鉄」により、維持されている。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には豊かな山・森があり、
最近「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」耳にするようになったが、
山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。
魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。

ここでも「他人を思う心」・「集団の協力」をエンジンにした地方自立循環型経済創生・豊かな海や森の
資源開発が進められている。

鉄の惑星 激変する危機を生き抜くエンジンは「他人を思いやる心」
幸福への岐路にある今 スピード・情報過多の情報社会の流されず、自らをじっくり考えよう。
そこに地球に生きる仲間みんなの共存再生の道がある。
「心優しき縄文人」「分かち合い」の多様性 そして 沖縄には「命こそ宝」の言葉もある。

終活が頭にちらつく我々だからこそその役割もあると信じて今を前向いて
わが道をゆく God Be With You!!

また、本年こそ日本の縄文に 世界遺産の道が開かれますよう 期待を込めて

2019.1.1. Mutsu Nakanishi

「2019年のはじめに」より

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1901nengaA.pdf>

一年経っても世界情勢 社会に大きな変化が見られず、特に日本ではひたすら高度成長期の成功体験にとらわれ、高度情報化のうねりの中 競争と効率を追い求める同一均質化の社会を未だに追い求め、多様・多質の柔軟な社会に鍛冶が切れないでいる。
景気は一向に良ならず、格差はますます増大する中、高齢化は急速に進み、不安感が漂う社会。そんな中で 美辞麗句の薄っぺらな掛け声に酔いしれ、自分さえ良ければ・・・と。
掛け声とは裏腹の薄っぺらな高度情報社会に はっと気がつく。 日本はこれからどこへゆくのか・・・・・・
そんな思いを書き綴った本年 1 年の from Kobe の雑文。

- 1 月 [心の故郷「縄文」と「鉄」に思いを馳せて](#)
- 3 月 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介 2019.1.30 朝日新聞朝刊
「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」
- 4 月 兵制からたらしい年号「令和」が発表された 1 日 [高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた](#)
[「平成」の総括から「令和」の新時代へ](#)
- 7 月 経験したことのない初夏 目まぐるしく変わる気象変化に負けぬよう
- 8 月 [2019 ひまわり夏 神戸便り](#) 雑感 異常気象をひしひしと感じる今年の夏
参議院選「嘲笑する政治」この夏 一番 私に響いた言葉 朝日新聞 2019.7.7.
- 10 月 [朝日新聞 2019. 9.27.朝刊 天声人語・オピニオン&フォーラムより](#)
大きなパラダイムシフトが進行する国際情勢の中で、国民に何も説明せず、みくだす横暴な仲間政治
理念も目標も失いいまだに高度成長期の流れにしがみつく日本 これではよいのだろうか…
なぜ、日本では新しい雇用・ビジネスを生みだす先進事業・企業が生まれない。
- 11 月 この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にした情報
効率化・選択と集中 行き過ぎた資本主義は人々を幸福にしない
GAFA グローバルな巨体企業の存在は富を集中し、富の分配がなされない」
多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会造りへ舵を切る》パラダイムシフトの波がおこりはじめた
- 12 月 [師走の今 本年を振り返って 心に響いた言葉](#)



新聞の論調も今 急激に変わってきた。
一度耳を傾け、日本の今を振り返る一助になれば…と。
また、日本の縄文をもっと知ってほしいと言いつけてきましたが、やっとまたユネスコ世界遺産登録の土俵に。
最近 縄文についての記事や解説が新しい視点で語られるようになったのもうれしい。

いろんなことがあった一年 あれもこれもとあたまを駆け巡り、令和元年が暮れてゆく・・・・・・
早く若ものの時代へ舵を切れ!!との思いです
来年こそ 令和の新しい時代と 誰もが実感できる明るく平和な時代になってほしいと。

20019.12.31. 2019 年 四季折々 和鉄の道を振り返って

◆ 2019年 年のはじめに

日本人の心の故郷 「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて
・ 2017 年年初【和鉄の道・Iron Road】に掲載した小文。色あせぬ思いに再度持ち出しました。
・ 心も新たに 年のはじめの思い 言葉足らずですが、お許しください。
私がよく口にする「縄文帰」・「日本人の心」、そして この変革の時代に新しい顔を見せる「鉄」

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道・知恵が「他人を思いやる心」
かつて日本には 1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形成してきた時代があった
日本人の心のふるさとといわれる「縄文」そのエンジンが「縄文の心・他人を思いやる心」だった
「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
現代社会においてはしばしば「なまっちよい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
でも 一旦危機災害に直面した時には 誰しもがその力強さに心打たれる「心」
「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい役割を示し始めた。
「鉄は国家なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる優し 鉄」・「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



約70億人いる現代人のルーツをたどると

「我々は約10万年前 東アフリカにいた小さな集団のたった一人の女性の子孫」

人類はこのたった一人の女性の子孫という綱渡りの細い道でつながり、

今約70億を超える繁栄を謳歌している。

この間 繁栄を極めた幾多の原人祖先がありながら、苦難の道乗り越えられず、他はすべて絶滅している。

地殻変動活動発生の時期にさしかかた今、現代人が引き起こした地球環境変化による異常気象も加わり、
地球上どこにいても 巨大災害がわがにも降りかかる

「今まで経験したことのない想定外の災害」と他人ごとではすまされぬ時代

一方、今まで謳歌してきた高度成長・高度情報化社会を支えてきたグローバル化・効率・大量消費を
追い求めた国際金融中心の情報化社会のほころびが随所に。

また、戦争の脅威は一向に去らず、格差の増大と弱者切り捨て 一握りの富裕層と大多数の貧困層への
2極分化が進み、出口は見つからずますます幸福感が遠のいてゆく。

望むと望まざるにかかわらず、躍動の時代から 成熟社会・人口減少の「激変の時代」へ
人類が幾たびも経験してきた絶滅の厳しい淵に立っている。

人類が困難を生き抜いてきた力それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」

約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文はその実証例

幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年老いるまで

集落の人たちに見守られ、生活を共にしてきた例が見つかる。

「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星 もし 鉄が地球になかば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。
動物の血液中の鉄・植物の光合成にも鉄が関与しらせている。

山海の動植物の生態系も また「鉄」により、維持されている。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には豊かな山・森があり、
最近「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」耳にするようになったが、
山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。
魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。

ここでも「他人を思う心」・「集団の協力」をエンジンにした地方自立循環型経済創生・豊かな海や森の
資源開発が進められている。

鉄の惑星 激変する危機を生き抜くエンジンは「他人を思いやる心」

幸福への岐路にある今 スピード・情報過多の情報社会の流されず、自らをじっくり考えよう。

そこに地球に生きる仲間みんなの共存再生の道がある。

「心優しき縄文人」「分かち合い」の多様性 そして 沖縄には「命こそ宝」の言葉もある。

終活が頭にちらつく我々だからこそその役割もあると信じて今を前向いて

わが道をゆく God Be With You!!

また、本年こそ日本の縄文に 世界遺産の道が開かれますよう 期待を込めて

【関連の和鉄の道】

1. 「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が・・・

[競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では](#) 2014.6.1.

2. [NHK「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」](#) NHK 取材班「Human ヒューマン」角川書店 2012.4.5.

3. [日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい](#)

一万年も平和で豊かな生活が続いた時代 世界に類のない日本の「縄文」 そのエンジンは「他人を思いやる心」
日本人の心の故郷「縄文」 北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

4. 「岩波の科学ライブラリー「鉄学 137 億年の宇宙誌」を読んで 2010.3.5.

[地球誕生から約 46 億年 鉄の歴史と役割にびっくり](#)

5. 雑誌「岳人」2016 年 2 月号掲載 第 18 回「鉄の誘い」

[皇山重篤氏「鉄の誘い」 山と海の出逢いつなぐりと恵みを巡る旅](#) 2016.3.16.

ホームページ更新時 ふと思う時代の流れから取り残されている疎外感・・・・昨年以上になお一層。

でも 愚痴はいうまい。老い行く中で、頭にあるのは「平和」・「穏やかな暮らし」のこと。

でも 今年には薄っぺらな高度情報社会への疑問が、私ばかりでなく、多くの人から語られるようになった。

日本の危機に対する叫び。でも それが政権・経済のリーダー層に届かない。

自分の成功体験と仲間頼みに縋りつく日本のリーダー層。うすっぺらな日本の情報化社会等々が見え隠れ。

今年も続く傲慢・独りよがり、アメリカ追従の仲間政治。技術立国日本がもろくも崩れ行く中、日本が国際社会から取り残され、幸福感が日に日に遠のいてゆく。一方 東京や大阪そして神戸の街の真ん中をニコニコ顔で歩く幸福に満ちた大勢の外国人たち。TV やマスコミ 政治家がまくしたてる言葉と現実の落差のいかに大きいことが……

自分の立つ位置をはっきりして、自分でしっかり考えないと一人取り残されてしまう。

前向いて平和の叫び・安定な暮らしを訴え続けたい。

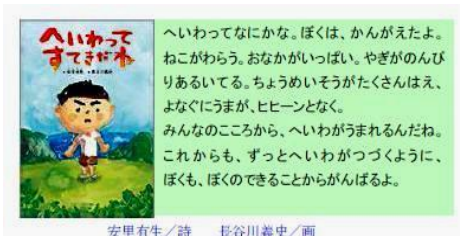
薄っぺらな情報社会からの脱却に一度 耳を傾けてほしいと。今一度 日本の現実に眼をむけねばと。

平成 7 年 1 月 17 日 午前 5 時 46 分 阪神淡路大地震
阪神・淡路大震災が発生し、私たちの大切なものを数多く奪ってしまいました。
また、初めてルミナリエの灯がともった神戸の夜の感激も
あの震災から 24 年 忘れない わすれまい 神戸の街の記憶を
神戸ルミナリエ 今年もたくさんの笑顔にであえました
ルミナリエの光の環の中で、ともに集えたことに感謝し、
ともに生きるありがたさと平和な暮らしを託す



018.128. 神戸ルミナリエ

● **平和を願って 決意も新たに!!**



◆ 安里有土君の詩 (2013.6.23.発表当時小学 1 年生)

「へいわって すてきだね」

この願いもいつも心に響く。

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう

国の大きな転換点 今 声を上げねば !!

平和を今 自分の頭で考えよう